



令和3年(2021)12月25日 第47号

高槻・五領の環境と 子どもの未来を 守る会 News



記事紹介 ☆ 五領地区 防災フォーラム報告

☆五領情報 つどいの広場 くすのき ☆五領写真情報 撮影：大倉清教氏

2021 五領地区防災フォーラム 報告

五領地区防災フォーラムが、2年振りに12月4日五領公民館で50名以上の出席者を集めて開催されました。濱田高槻市長の挨拶に始まり、関西大学社会安全学部 奥村与志弘准教授による、特別講演「風水害による犠牲者ゼロを目指して」、次に、具体的な地区の課題を取り上げてのパネルディスカッションと続き、出席者にとっては有意義な時間であったと思われます。

特別講座では、まず、災害の違いを認識すること。災害での被害家屋1000棟当たりの各死亡者に於いては、土砂災害では300人、津波では100人、地震では50人、浸水害では10人以下程度ということです。土砂災害は死亡率が高い。また、浸水害で家が流されるのは稀である。浸水高さによるが、2階への避難も有効な場合もある。特に内水氾濫の場合、徐々に水位が上がり危機感を抱くのが遅くなる可能性がある。周囲が浸水を始めてから避難を始めるのは危険。避難行動に関しても、行政からの情報で逃げた人は少ない、声かけで仲間と動く事のほうが多い。岡山の災害では、アルミ工場の爆発が避難のきっかけになった。「人の行動は、理屈でも、合理的でもない。」現状で要求されている行動は、現実的ではなく犠牲率も変わっていない。現状で意識を高めるのは限界があり、要求されているゴールが現実的でないというご指摘がありました。

では、どうすればよいのか。現実を直視し、日本のこれまでの避難対策は、効果が頭打ちしているととらえるのが正確であろう。これまで通りの取り組みをしっかりとっていくのは重要であるが、それだけでさらに犠牲率を下げていくことは難しい。“これまでになかったアプローチを検討すべきとのことでした。

五領地区防災フォーラムを詳しくお知りになりたい方は、ホームページ「五領地区コミュニティ」をご覧ください。

<https://www.goryo.net/#gsc.tab=0>



パネルディスカッションを聞いて！

五領地区要支援者名簿の取り扱い、高齢者への支援活動の方法などが話題になり、パネリストからは、地区で情報を1本化している所があると報告もあった。今までと違った視点でとらえることが必要、「支援をしてほしい」という声をとらえる事が大切ではないかとの指摘であった。支援の不要な人も存在し、一律に情報確認に何度も来られるのも煩わしく思われること、それが繰り返されると支援側のモチベーションが維持できなくなるとの事である。

いずれにしても地区で考えねばならないことで、少しずつ、少人数の集まりでも考える事を広げ、広げながら収斂させていくしかないのかも知れません。

参考ホームページ：高槻市災害時要援護者支援事業 地域の取り組み事例
<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/45/zireiR3.pdf>

避難行動 避難時期・避難場所までの距離！ 講演会を聞いて

課題である浸水害避難に関して、もう少し考察してみます。避難は、自宅からの避難と外出先での避難に分けられます。ここでは自宅からの避難を考えます。まず、避難のタイミングが重要です。しかし、すべての人に共通する100点満点の答えは見つかりません。置かれた状況と場所によりより良いと思われる方法を各個人で見つけるしか無いようです。行政の避難情報は令和3年5月に改正され、避難勧告は無くなりました。警戒レベル3高齢者等避難、警戒レベル4避難指示で判断します。広報では、次の「3つの条件」が確認できれば、自宅に留まり安全を確保する事も可能としています、その条件は、①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない、②浸水深より居室は高い、③水がひくまで我慢でき、水・食料などの備えが十分。五領地区では、浸水害も種類があります。内水氾濫、外水氾濫（淀川、檜尾川、水無瀬川）。各場合の行動と避難場所の組み合わせを考えておいて、その時の最適解を見つける必要があります。避難場所も、行政が指定した避難場所、安全な親戚・知人宅へ、安全なホテル、旅館への避難、そして屋内安全確保（垂直避難）と多様です。まだ、いろいろ考えられます。避難場所に行っても1家族だけだったらどうしよう？ご近所と声を掛け合って、知恵を出し合う事ができれば心強い。小さな集まりでも、日常的に話題になることが備えになると思われま

子ども情報 つどいの広場 くすのき TEL072-601-1460

未就学のお子様と保護者の方が気軽に集える広場です。ほっと息抜きに自然が豊かな広場くすのきに遊びに来ませんか？



わらべうた



お庭でぶらんこゆーらゆら



親子おにぎりクッキング

1月のイベント抜粋

おはなし会 2月27日より予約受付
1月7日(金) 10:00~10:30
季節のおはなしを見て聞いて楽しみましょう
楽しいおはなしを見た後は火鉢でかんであたたまりましょう
要予約5組

出前ひろば 10:00~11:00 要予約5組
くすのきスタッフと一緒にあそんでくれるお友達が
大募集っっ
東上牧自治会館で
おまちしています
1月20日(木) 要予約5組

わらべうた 10:00~ 1月21日(金) 10:30
わらべうたを楽しみながらのんびり親子で
ふれあいタイム!!
講師 岡崎義子さん
要予約5組

五領・鶺鴒写真情報 2021年12月17日 撮影：大倉清教氏

大倉氏は淀川河川敷の鳥を中心に五領地区の自然を撮影しておられます。氏のホームページには毎日のように写真が掲載されます。
ホームページ : <https://www.facebook.com/Kiyonori.Ookura>



カワセミ



ジョウビタキ



ヒドリガモ



アオジ

発行 : 高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会
代表 : 上田 博夫
住所 : 〒569-0003 大阪府高槻市上牧町1丁目3-17 上牧公民館内
電話番号 : 090-2283-1619 (村井)

ホームページ : <https://takatsukigoryo-mamorukai.jimdofree.com/>

編集部 : コロナウイルス、オミクロン株という新種がいよいよ日本に上陸、拡散し始めています。しかし、この新種に関係なく12月8日以降の全国の毎日の新規感染者数は、その1週間前の日に比較し増加し続けています。増加傾向も週単位で大きくなり、今週は1.5倍になるかとしています。この増加率でも10週間後には60倍になる計算です。次回「守る会」定例会は、12月25日、第4土曜日 16:00~18:00、上牧公民館（上牧町本澄寺前）で開催します。連絡は、事務局村井 (masa569@tcn.zaq.ne.jp) 迄